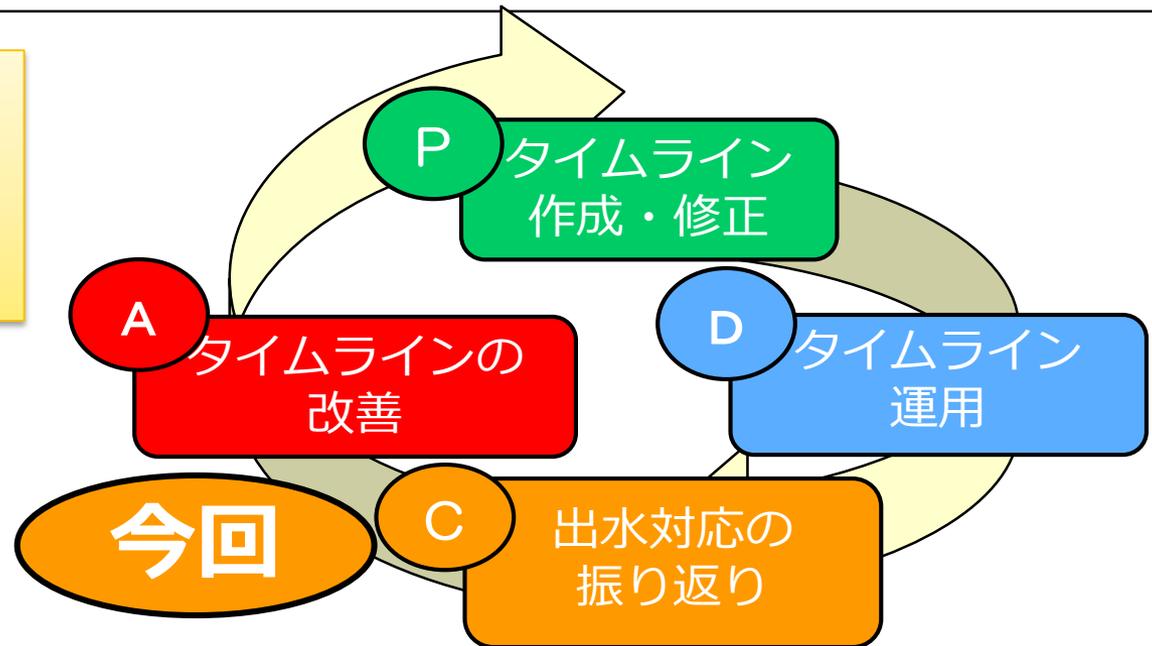


令和2年出水期振り返りワーキング 説明資料

ワーキングの目的

- 今年度の出水期は大きな被害は発生しなかったことから、アンケートにおいて確認した出水対応に対する課題を振り返りのテーマとして共有し、課題や改善策の意見出しを行う。

タイムラインは、
PDCAにより
スパイラルアップして
いくことが重要



<今回の振り返りで議論するテーマ>

- テーマ1：早めの体制確立について
- テーマ2：他機関や機関内における情報共有について
- テーマ3：出水対応時における感染対策について

スケジュール

内容	時間
(1) 挨拶 [5分]	13 : 30~13 : 35
(2) 令和2年出水期の概要 [10分]	13 : 35~13 : 45
(3) 振り返りアンケート結果の概要 [10分]	13 : 45~13 : 55
(4) 振り返り（意見交換） テーマ1：早めの体制確立について	13 : 55~14 : 30
～ 休 憩 ～	14 : 30~14 : 40
テーマ2：他機関や機関内における情報共有について	14 : 40~15 : 05
テーマ3：出水対応時における感染対策について	15 : 05~15 : 25
(5) 今後の予定	15 : 30

(2) 令和2年出水期の概要

2020年（令和2年）出水期の本土に上陸した台風について

- 年間発生数は平年を下回る。
- 日本に上陸した台風の数も平年を下回る。
- 台風の上陸はなかった。（12年ぶり）

平年値

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
接近数※1				0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4
上陸数※2					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7

2020年

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数					1	1		7	4	5			18
接近数※1								4	3	1			7
上陸数※2													0

赤字：平年値（1981年～2010年の30年平均）を上回るもの

※1 接近：台風が国内のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合

※2 上陸：台風が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合

気象庁 台風の平年値（1981年～2010年）

2020年の台風の発生数、2020年の台風の接近数、2020年の台風の上陸数（2020年10月27日現在）

令和2年度の芦田川水害タイムライン 運用実績

- タイムラインレベルの移行基準（トリガー）に従って、前線や台風に対する危機感の共有のために、積極的にタイムラインを発動（計12回発動）

◎タイムラインレベルのトリガーと警戒レベル

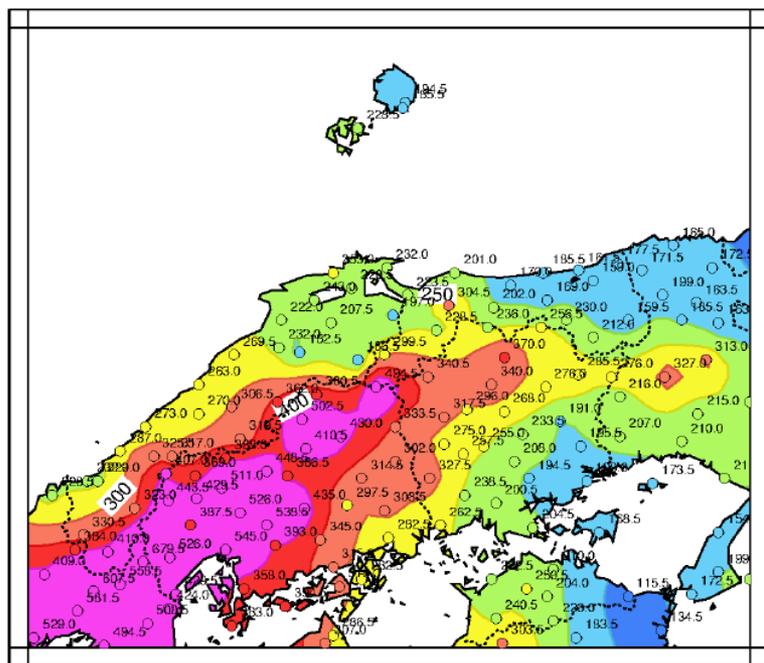
タイムラインレベル	タイムラインレベル移行のトリガー	警戒レベル	各警戒レベルで発表が想定される情報（トリガー以外の情報）
レベル0 (3日前準備)	・台風情報 ・3日先までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）	—	
レベル0 (2日前準備)	・台風情報 ・台風説明会の実施 ・2日先までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）	—	
レベル1 (1日前準備)	・台風情報 ・翌日までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）	警戒レベル1	・強風注意報
レベル2	・氾濫注意水位の超過 ・氾濫注意情報	警戒レベル2	・洪水警報の危険度分布（注意） ・洪水注意報 ・大雨注意報 ・大雨警報（浸水害） ・暴風警報
レベル3	・避難判断水位の超過 ・氾濫警戒情報	警戒レベル3	・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布（警戒）
レベル4	・氾濫危険水位の超過 ・氾濫危険情報	警戒レベル4	・洪水警報の危険度分布（非常に危険）
レベル5	・堤防の決壊 ・氾濫発生情報	警戒レベル5	・大雨特別警報（浸水害） ・災害発生情報

青文字：各タイムラインレベルの状況に合わせて、警戒レベル相当情報に加えて発表が想定される情報

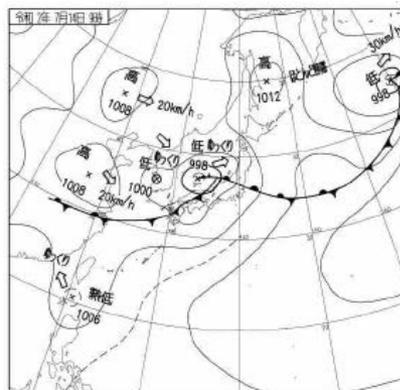
No.	事象	年月日	内容	レベル
1	梅雨前線	R2.5.14	発動	レベル0（2日前）
		R2.5.15	解除	
2	梅雨前線	R2.6.9	発動	レベル0（2日前）
		R2.6.10	移行	レベル1（1日前準備）
		R2.6.11	解除	
3	梅雨前線	R2.6.12	発動	レベル1（1日前準備）
		R2.6.15	解除	
4	梅雨前線	R2.6.16	発動	レベル0（2日前）
		R2.6.17	移行	レベル1（1日前準備）
		R2.6.19	解除	
5	梅雨前線	R2.6.24	発動	レベル1（1日前準備）
		R2.6.26	解除	
6	梅雨前線	R2.6.29	発動	レベル1（1日前準備）
		R2.6.30	解除	
7	梅雨前線	R2.7.3	発動	レベル0（3日前）
		R2.7.14	移行	レベル1（1日前準備）
		R2.7.14	移行	レベル3
		R2.7.14	移行	レベル1（1日前準備）
		R2.7.15	解除	
8	梅雨前線	R2.7.21	発動	レベル1（1日前準備）
		R2.7.31	解除	
9	台風10号	R2.9.3	発動	レベル0（3日前）
		R2.9.6	移行	レベル1（1日前準備）
10	秋雨前線	R2.9.7	解除	
		R2.9.16	発動	レベル0（2日前）
		R2.9.17	移行	レベル1（1日前準備）
11	台風14号	R2.9.18	解除	
		R2.10.7	発動	レベル0（3日前）
		R2.10.8	移行	レベル0（2日前）
12	秋雨前線	R2.10.9	解除	
		R2.10.2	発動	レベル0（2日前）
		R2.10.21	解除	

中国地方に影響を及ぼした豪雨 令和2年7月14日出水（気象概要）

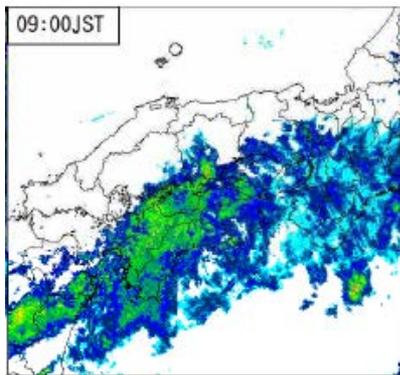
- 梅雨前線が7月5日から6日にかけて日本海まで北上し、10日と13日には日本海を低気圧が通過したことに伴い、北上と南下を繰り返した。
- 広島県内では、14日に三次市君田で**24時間降水量193.5ミリ**と**観測史上1位を更新**したほか、広島市中区と東広島市志和で5日から14日までの降水量が**平年の7月の2倍を超える大雨**になった。



アメダスによる降水量分布図（5日00時～14日24時）



地上天気図 7月14日 09時



気象レーダー画像 7月14日 09時

単位：ミリ

市町村名	地点名	値 (mm)	起時
呉市	呉市蒲刈(クレスカガリ)	39.5	7月8日 01時03分
広島市中区	広島(ヒロシマ)	34.5	7月6日 16時32分
廿日市市	廿日市津田(ハツカイツツ)	34.0	7月7日 15時14分
庄原市	道後山(ドウゴヤマ)	33.0	7月8日 18時47分
山県郡北広島町	八幡(ヤワタ)	29.0	7月14日 02時29分
三次市	君田(キミタ)	28.0	7月14日 03時32分
庄原市	庄原(ショウハラ)	28.0	7月14日 04時49分
大竹市	大竹(オオタケ)	27.5	7月6日 15時29分
呉市	倉橋(クラハシ)	27.5	7月8日 00時49分
府中市	上下(ジョウゲ)	26.5	7月14日 05時41分
山県郡安芸太田町	内黒山(ウチクロヤマ)	26.5	7月6日 02時45分
山県郡北広島町	大朝(オオアサ)	26.0	7月14日 02時50分
神石郡神石高原町	油木(ユキ)	26.0	7月14日 04時53分
山県郡北広島町	都志見(ツシミ)	26.0	7月14日 03時05分
東広島市	志和(シワ)	26.0	7月14日 05時05分
東広島市	安宿(アスカ)	25.5	7月14日 05時27分
庄原市	東城(トウジョウ)	25.0	7月14日 05時20分
山県郡安芸太田町	加計(カケ)	24.5	7月14日 02時58分
広島市安佐北区	三入(ミイリ)	24.5	7月14日 03時24分
三原市	本郷(ホンゴウ)	24.0	7月14日 06時47分
安芸高田市	美土里(ミツリ)	23.5	7月14日 05時09分
福山市	福山(フクヤマ)	23.5	7月14日 06時21分
三次市	三次(ミヨシ)	23.0	7月14日 04時37分
安芸高田市	甲田(カウダ)	23.0	7月14日 05時13分
竹原市	竹原(タケハラ)	23.0	7月8日 01時20分
山県郡北広島町	王泊(オオトマリ)	21.5	7月14日 02時45分
東広島市	東広島(カガヒヒロシマ)	21.0	7月7日 16時00分
世羅郡世羅町	世羅(セロ)	20.5	7月14日 06時08分
尾道市	生口島(イクチジマ)	20.5	7月8日 01時49分
庄原市	高野(タカノ)	19.5	7月14日 02時55分
広島市佐伯区	佐伯湯来(サイキユキ)	18.5	7月14日 02時59分
府中市	府中(フチュウ)	17.5	7月14日 07時01分
呉市	呉(ル)	17.0	7月7日 16時01分

日最大1時間降水量
(7月5日19時～14日24時、多い方から)

中国地方に影響を及ぼした豪雨 令和2年7月14日出水（中国地方直轄河川の状況）

- 国管理河川4水系4河川11観測所で「氾濫危険水位」を超過、4水系5河川5観測所で「避難判断水位」を超過、7水系7河川12観測所で氾濫注意水位」を超過した。

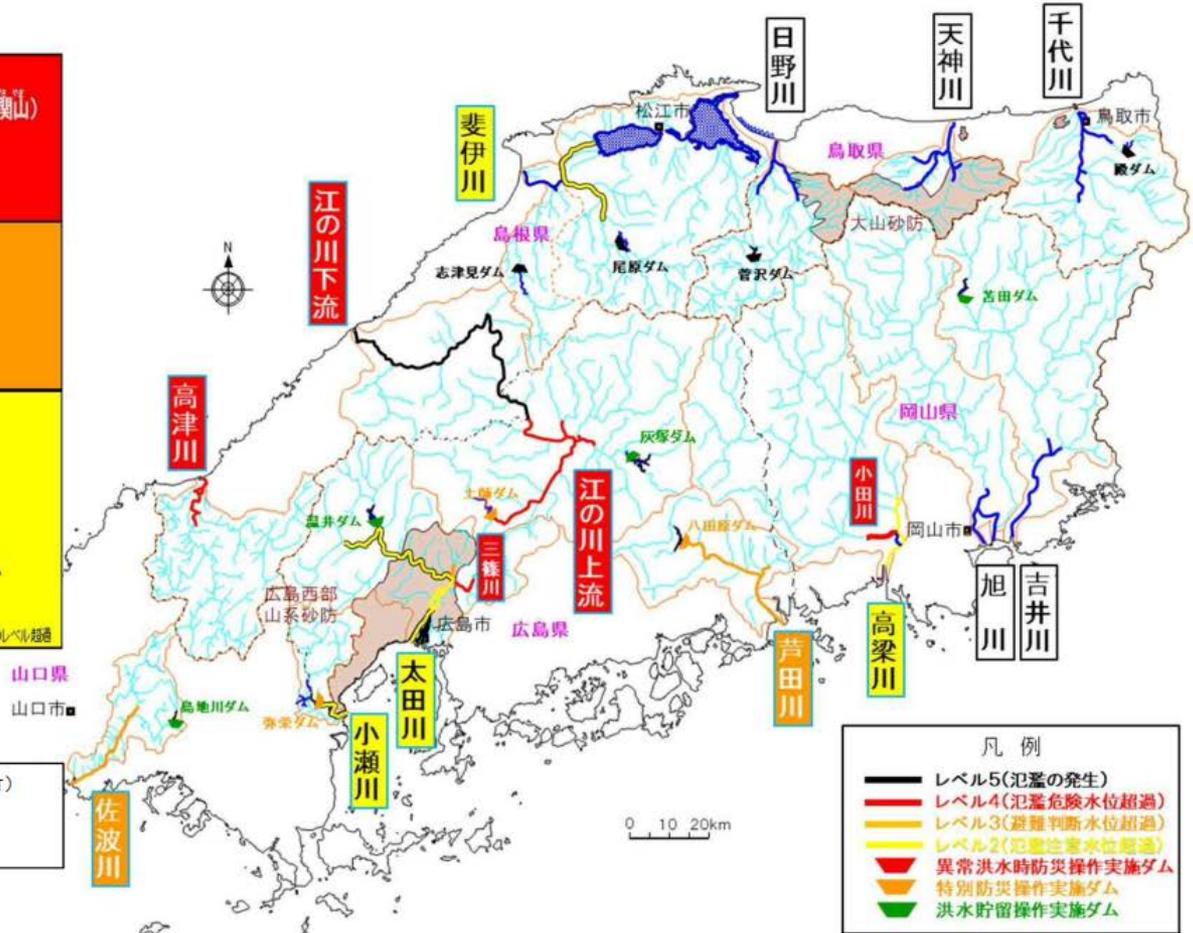
■ 河川出水状況（国管理区間）

氾濫危険水位超過 4水系4河川 11観測所	江の川水系 江の川（川本、谷住郷、川平、都賀、大津、吉田、栗屋、尾関山） 高津川水系 高津川（高角） 太田川水系 三篠川（中栗川） 高梁川水系 小田川（矢掛）
避難判断水位超過 4水系5河川 5観測所	江の川水系 神野瀬川（神野瀬川） 直津川（直津町） 芦田川水系 芦田川（矢野原） 太田川水系 根谷川（新川橋） 佐波川水系 佐波川（漆尾）
氾濫注意水位超過 7水系7河川 12観測所	斐伊川水系 斐伊川（瀬分） 高津川水系 高津川（神田） 江の川水系 西城川（三次） 高梁川水系 高梁川（白羽、酒津） 芦田川水系 芦田川（山手） 太田川水系 太田川（土居、加計、飯室、祇園大橋、矢口第二） 小瀬川水系 小瀬川（小川津）

■ 主な一般被害（国管理区間）

- ★ 江の川水系江の川沿川の被害状況（島根県江津市・川本町・美郷町）
浸水面積※1：約223ha
浸水戸数※1：143戸

※1：国土交通省中国地方整備局調査による推定

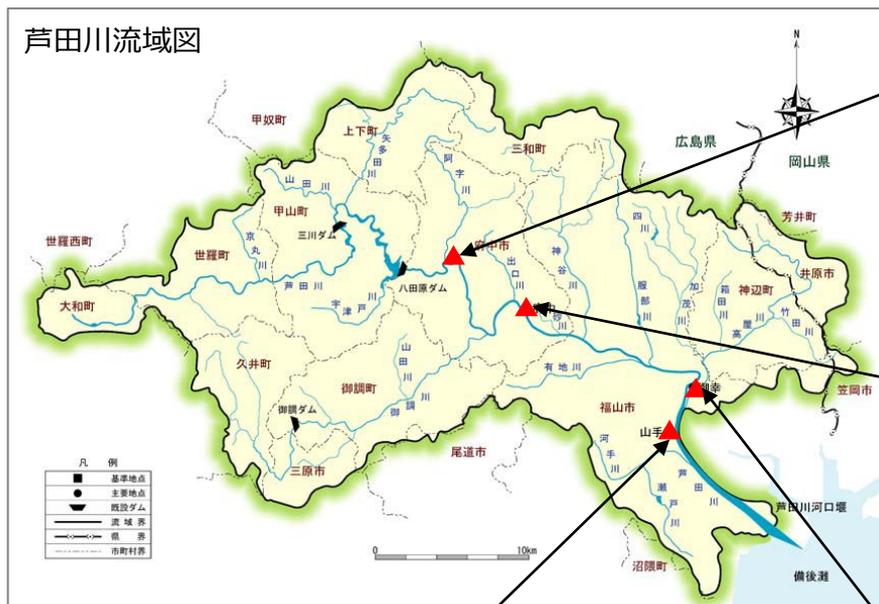


凡例	
— (Black line)	レベル5(氾濫の発生)
— (Red line)	レベル4(氾濫危険水位超過)
— (Yellow line)	レベル3(避難判断水位超過)
— (Orange line)	レベル2(氾濫注意水位超過)
— (Red triangle)	異常洪水時防災操作実施ダム
— (Orange triangle)	特別防災操作実施ダム
— (Green triangle)	洪水貯留操作実施ダム

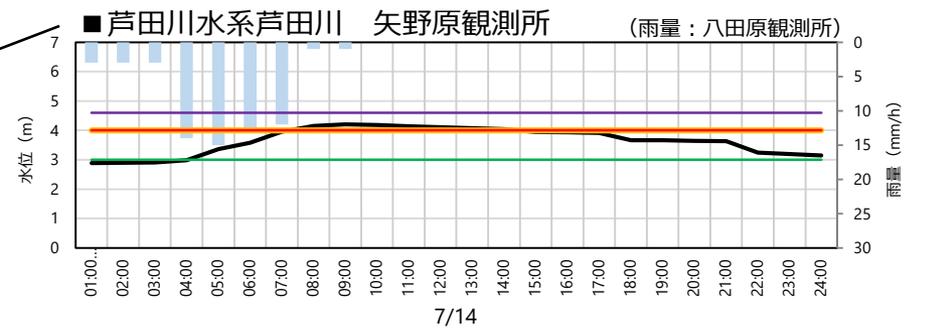
出典：令和2年7月洪水による中国地方整備局管内の出水概況/中国地方整備局河川部

中国地方に影響を及ぼした豪雨 令和2年7月14日豪雨（芦田川の状況）

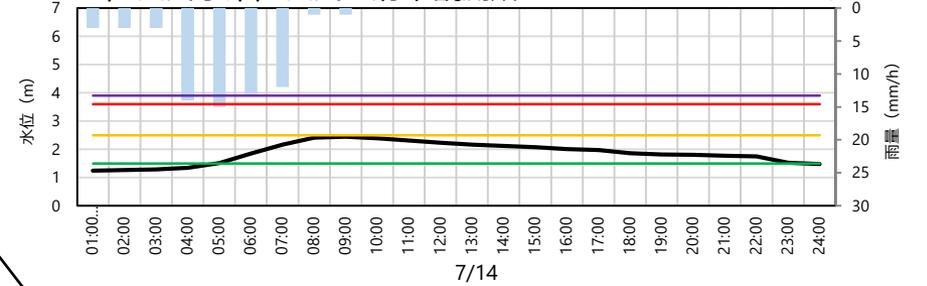
■ 芦田川では山手水位観測所で氾濫注意水位、矢野原水位観測所で避難判断水位を超過した。



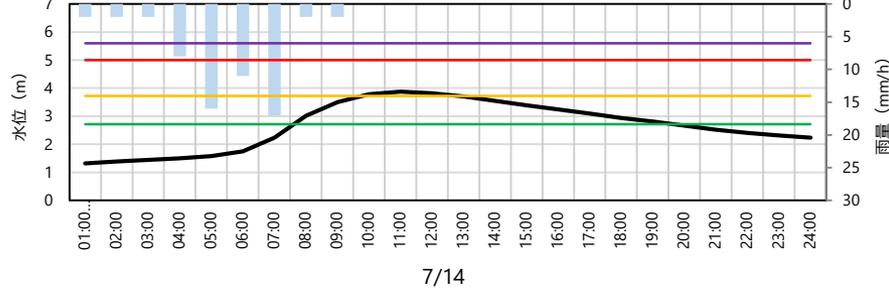
■ 芦田川水系芦田川 矢野原観測所 (雨量：八田原観測所)



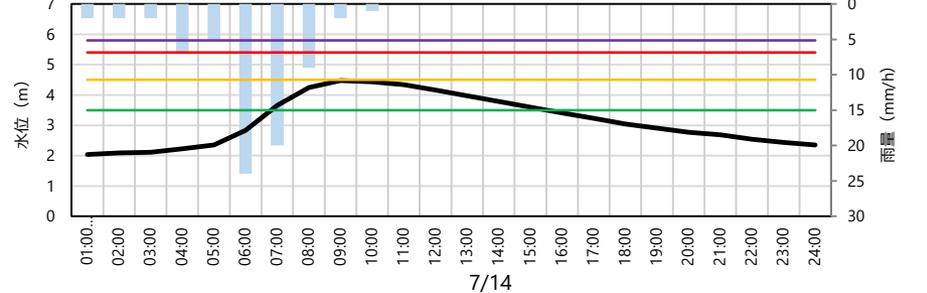
■ 芦田川水系芦田川 府中観測所 (雨量：八田原観測所)



■ 芦田川水系芦田川 山手観測所 (雨量：府中観測所)



■ 芦田川水系高屋川 御幸観測所 (雨量：神辺観測所)

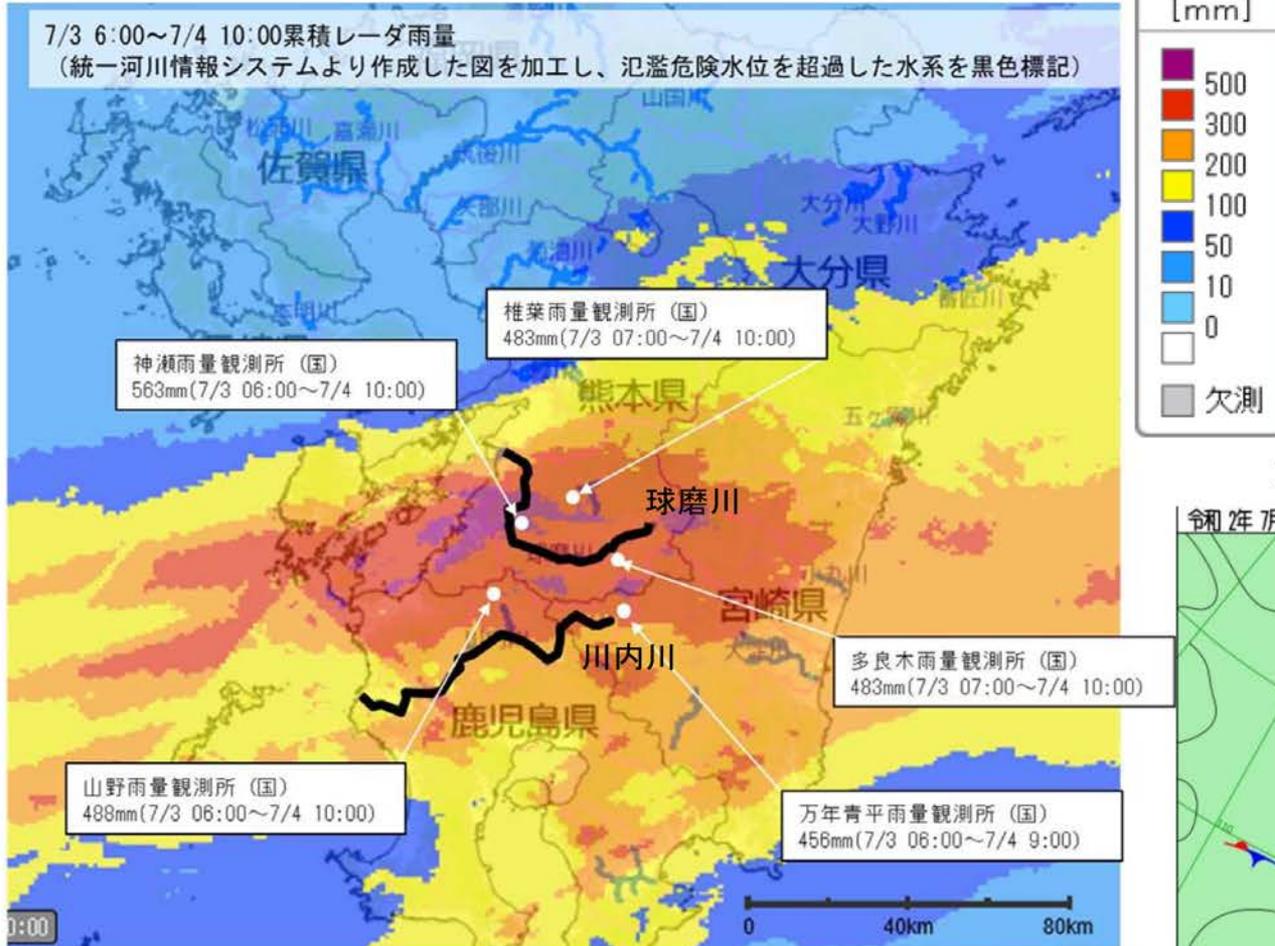


その他の地域の出水概要

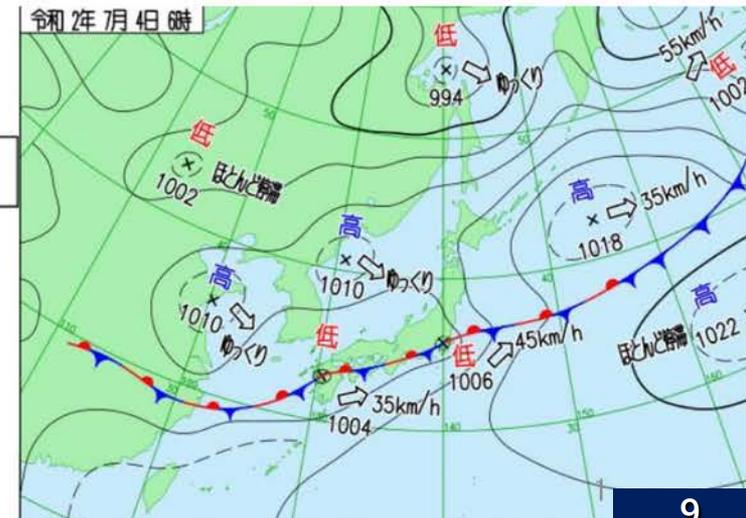
令和2年7月梅雨前線に伴う大雨（九州地方）

- 7月3日（金）から4日（土）にかけて、梅雨前線の活発な活動により九州南部の広範囲に強い雨域がかかり、多くの雨量観測所で観測史上最多の日雨量を観測する記録的な大雨となった。

7/3 6:00~7/4 10:00累積レーダ雨量
 （統一河川情報システムより作成した図を加工し、氾濫危険水位を超過した水系を黒色標記）



天気図（7月4日 6時頃 気象庁HPより）



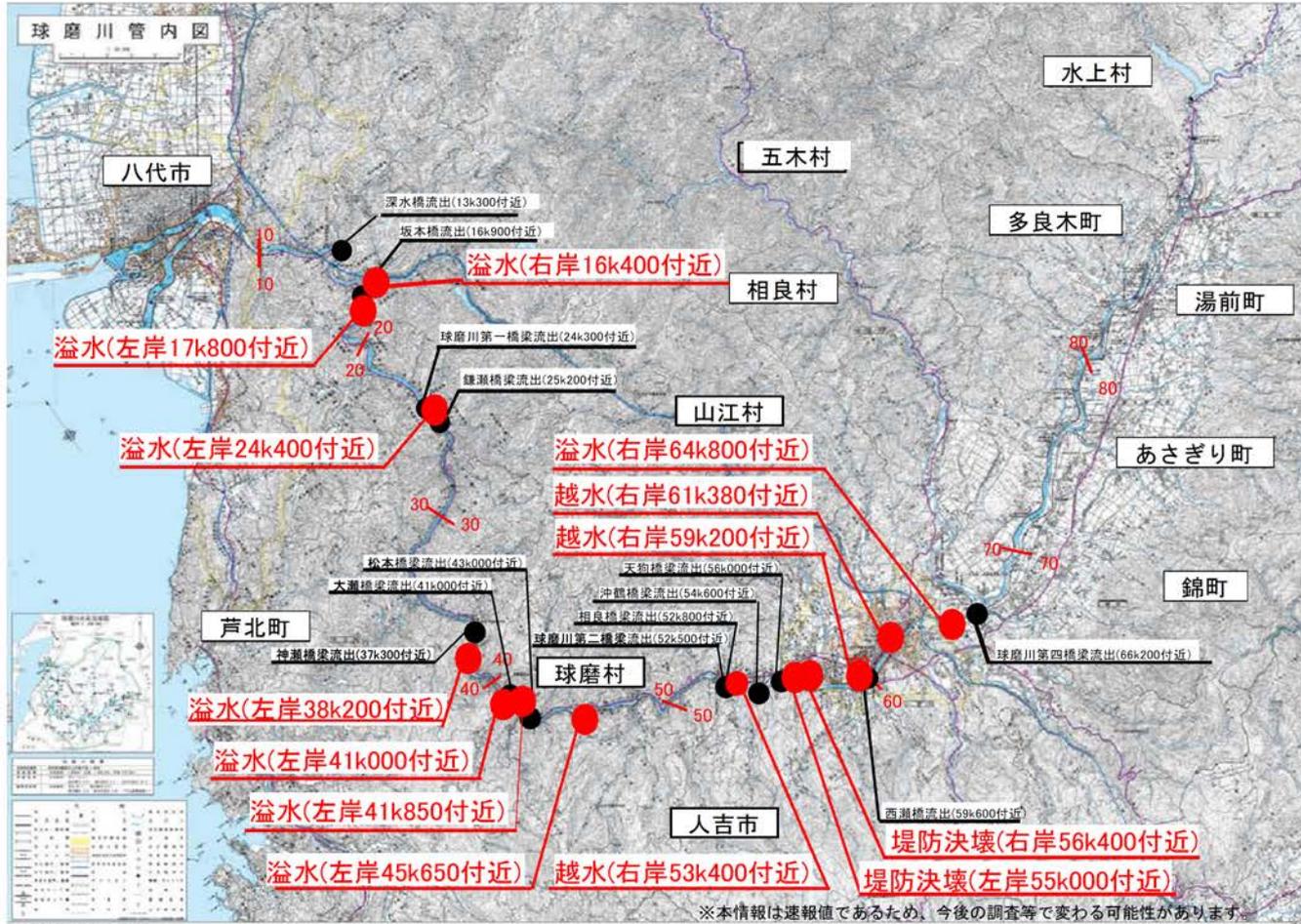
その他の地域の出水概要

令和2年7月梅雨前線に伴う大雨（九州地方）

- 球磨川水系球磨川（国管理）において、2箇所にて堤防決壊、3箇所にて越水、8箇所にて溢水し、浸水被害が発生、橋梁13橋が流出。

球磨川水系（熊本県）における浸水状況

※球磨川本川に架かる道路橋10橋、鉄道橋3橋、
その他支川に架かる道路橋4橋の計17橋の流出が確認されている。



被災状況



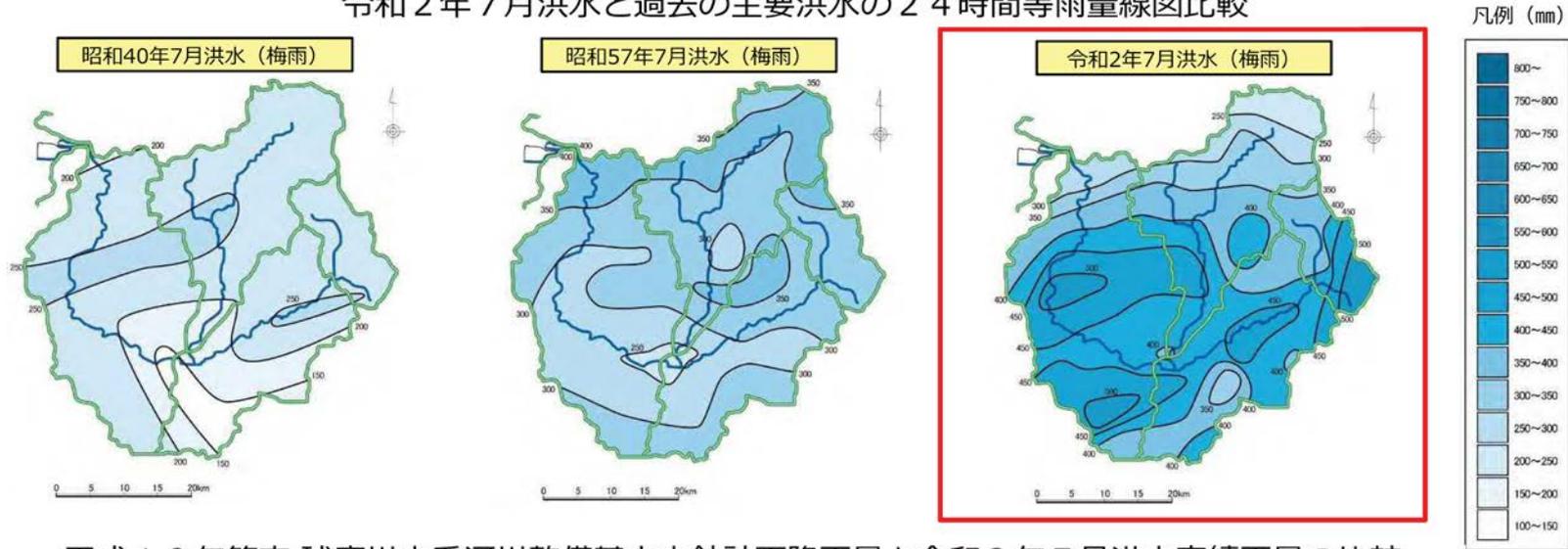
※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

その他の地域の出水概要

令和2年7月梅雨前線に伴う大雨（九州地方）

- 24時間等雨量線図においても、球磨川流域の広範囲において、戦後最大の洪水被害をもたらした昭和40年7月洪水や昭和57年7月洪水を上回る降雨であったことが確認された。
- 12時間雨量でも、人吉上流域及び横石上流域の計画降雨量を超える雨量を記録した。

令和2年7月洪水と過去の主要洪水の24時間等雨量線図比較



平成19年策定 球磨川水系河川整備基本方針計画降雨量と令和2年7月洪水実績雨量の比較

※雨量については、流域平均雨量

流域	計画規模	計画降雨量 (mm/12h)	今回の実績雨量 (mm/12h)
人吉上流域	1/80	262	321
横石上流域	1/100	261	347

※本資料の数値は「速報値」であり、今後変更の可能性がある。

(3) 振り返りアンケート結果の概要

アンケートの概要

- 令和2年の出水対応を振り返るため、アンケートを実施
(実施期間：12/15 (火) ~12/25 (金))
- 回答率：76%

約8割の機関の皆様にご回答いただきました。
ご協力ありがとうございました。

『アンケート内容』

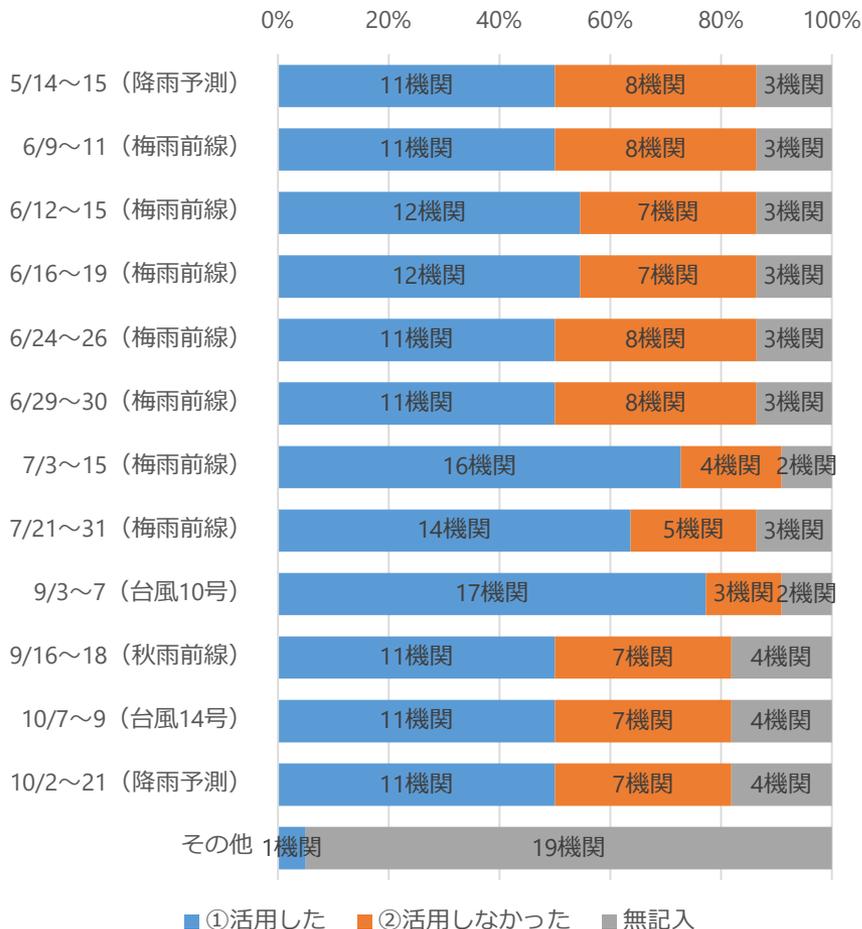
- 設問 1：本年度の出水対応についてタイムラインの活用状況
- 設問 2：本年度の出水対応でうまくいったこと、
うまくいかなかったこと
- 設問 3：課題と感じた対応や改善が必要と感じたツール
- 設問 4：自由意見

アンケート結果の概要

問1：本年度の出水対応についてタイムラインの活用状況とその理由

- 山手水位観測所で氾濫注意水位まで水位が上がった7月3日～15日までの梅雨前線と、一時は大型で非常強い台風となった台風第10号で、タイムラインを活用した機関が多かった。

本年度のタイムラインの活用状況



<「活用した」の主な理由>

- ✓ タイムライン立上げ時の情報収集及び連絡等の支援を行ったため。
- ✓ タイムラインの加盟機関であるため
- ✓ 気象庁の気象データを基に市で作成している対応マニュアルと併せて対応した
- ✓ メールを受信し、準備の目安になった
- ✓ 110番等の対応
- ✓ 防災行動項目確認
- ✓ 河川の状況把握
- ✓ 諸体制構築、避難所開設、河川法面崩落
- ✓ タイムライン発動以外に、11月2日に気象情報の収集・110番等の対応のために活用

<「活用しなかった」の主な理由>

- ・ 被害が出る降雨予想ではなかった
- ・ 特に体制を確立していない。
- ・ 水害タイムラインと行動パターンが異なった為、使用するシーンがなかった。
- ・ 参考にした、自社ビル水防板設置を実施した
- ・ 徐行、停止基準になる予測ではなかったため

アンケート結果の概要

問2：本年度の出水対応でうまくいったこと、うまくいかなかったこと

- 早めの体制確立や事前対応の判断、タイムラインに関する情報発信について、うまくいったとの回答があった。
- 一方で、業務の重複により遅めの対応になってしまったと回答した機関や、急激な河川上昇や未明の警報発令により体制がうまく構築しなかったと回答した機関があった。

うまくいったこと	要因
自機関の体制の確立・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムライン発動のメールが体制構築の参考になった。 ・ 早めの体制構築、各課への根回し。 ・ 各関係機関の動きが予測でき体制構築の参考となった ・ 各種ツール等が参考となった
部隊編成の判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムラインメール、気象情報により構築の参考となった。
水防板設置判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムラインメールを参考にした
タイムラインレベルのお知らせ	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムラインの取り組みが浸透しつつあるため

うまくいかなかったこと	要因
排水ポンプ車の出動指示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な業務が重複し、手順で定められた指示タイミングより若干、遅めの指示となった。
深夜の体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未明に警報が発令され、職員の参集に時間がかかった
内水被害への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急激な降雨、河川水位上昇で準備時間が無かった
役に立つ情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所の住所などすぐに役立つ情報の提供が必要だとは認識していたが、体制が十分ではなかった

参考：回答数

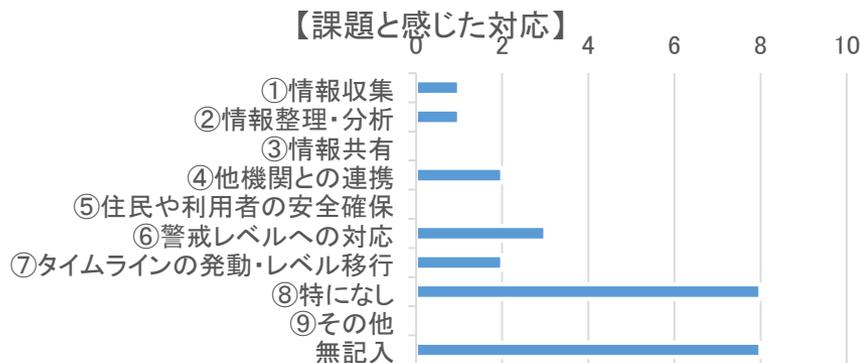
- うまくいったこと
- うまくいかなかったこと
- 無記入



アンケート結果の概要

問3：課題と感じた対応や改善が必要と感じたツール

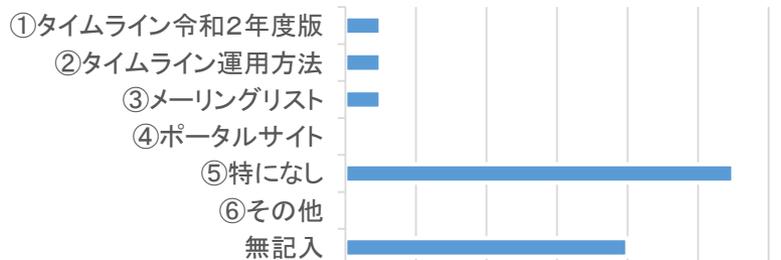
- 「④他機関との連携」、「⑥警戒レベルへの対応」、「⑦タイムラインの発動、レベル移行」が、**課題と感じた対応**として複数意見の回答があった。
- 「①タイムライン令和2年度版」、「②タイムライン運用方法」、「③メーリングリスト」が、**改善が必要と感じたツール**として回答があった。



<課題>

- ✓ タイムラインの発動及びレベル移行等について、**メールでは気づきにくい。**
- ✓ タイムライン発動のメールを受信し、**各所に伝達しているが、漏れが生じる**ため、副次的な伝達手段が必要だと感じる。
- ✓ **機関内での情報共有に課題**を感じている。
- ✓ 急な悪天候時に**警戒レベル情報と一致しない。**

【改善が必要と感じたツール】



<改善のアイデア>

- ✓ **項目数が多く、水防活動時に参照するには実際上困難**なので、事後検証用と明言し、水防活動を網羅するツールにする。
- ✓ 本当の多機関連携を目指すなら、**多機関のシステム統合は必須。**

<問4：自由意見>

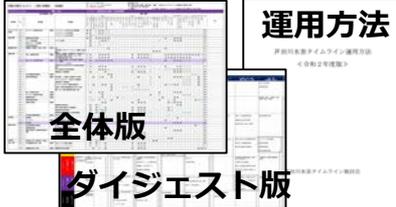
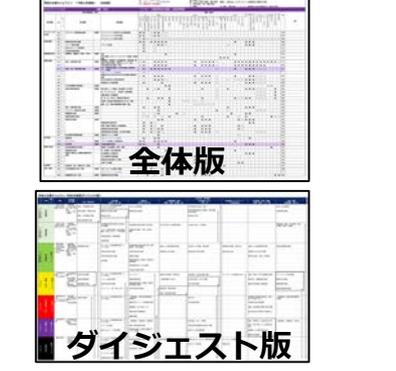
- ✓ 今年は、出水期においても大きな風水害がなかったものの、**新型コロナウイルス感染症感染防止のため避難を促すべきか**の判断を苦慮することになることが予想され、**医療機関を含め各機関の連携が必要**と認められる。

アンケート結果への対応方針

設問	分類	意見	対応方針
うまくいかなかったこと	業務量、体制確立	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 業務が重複し若干遅めの指示となった ✓ 未明に警報が発令され、職員の参集に時間がかかった ✓ 急激な降雨、河川水位上昇で準備時間が無かった ✓ 情報提供の体制が不十分だった 	<p>体制が不十分、遅れたとの意見がある一方で、早めの体制確立ができた機関も多かったことから、意見交換のテーマとする</p> <p>⇒ テーマ①：早めの体制確立について</p>
課題と感じた対応	他機関や機関内での情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機関内での情報共有に課題 ✓ タイムライン発動のメールを受信し、各所に伝達しているが、漏れが生じる ✓ タイムラインの発動及びレベル移行等について、メールでは気づきにくい 	<p>他機関や機関内での情報共有が課題として挙がっている機関が多かったことから、意見交換のテーマとする</p> <p>⇒ テーマ②：他機関や機関内における情報共有について</p>
	警戒レベルの基準	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 急な悪天候時に警戒レベル情報と一致しない 	<p>急激な降雨等の場合は、タイムラインにかかわらず臨機応変な対応が必要である。その旨を、運用方法等に記載する</p>
改善のアイデア	タイムラインの項目が多い	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 項目数が多く、水防活動時の参照は実際上困難なので、事後検証用と明言し、水防活動を網羅するツールにする 	<p>タイムラインは、多機関の行動項目が網羅的に整理されているため、出水対応の全体の流れや連携先の事前確認や出水対応の事後検証に有用である。タイムラインの活用方法について次頁に詳細を示す</p>
	システム統合	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本当の多機関連携を目指すなら、多機関のシステム統合は必須 	<p>多機関連携の実現には、情報共有が重要であるため、来出水対応の際には、多機関連携の強化に重要な情報や情報共有方法を意識していただき、出水対応の振り返り等で解決策の検討する</p>
自由意見	新型コロナウイルス感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新型コロナウイルス感染症感染防止のため避難を促すべきかの判断を苦慮することが予想され、医療機関を含め各機関の連携が必要と認められる 	<p>多くの機関が初めて経験し苦労がある内容であることから、意見交換のテーマとする</p> <p>⇒ テーマ③出水対応時における感染対策について</p>

タイムラインの活用方法

● 段階に応じて3つのツールを活用

<p>平常時</p>	 <p>運用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ タイムラインの見直し・改善 ✓ タイムラインを活用した訓練 ✓ 担当者の引継ぎ、教育訓練等
<p>事前対応</p>		<ul style="list-style-type: none"> ✓ タイムラインの全体像を確認 ✓ 多機関連携ポイントの確認 ✓ 機関内で実施する項目の確認
<p>災害対応</p>	 <p>運用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各機関の対応 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 行動項目の実施 <ul style="list-style-type: none"> ● 多機関への情報伝達 ● 重要情報のメール発信 ● 先を見越した行動の確認 ✓ 実施状況の確認・記録 ✓ 機関内で実施する項目の実施 ◆ 事務局の関の対応 <ul style="list-style-type: none"> ✓ タイムラインの運用 <ul style="list-style-type: none"> ● タイムラインの立ち上げ、レベル移行の意思決定 ● 参加機関への連絡

+ 各機関のマニュアル等の活用

地域防災計画

防災マニュアル

機関タイムライン

- 機関内で実施する項目の内容、手順等の詳細を確認

Point

災害時は多機関との連携についてはタイムラインで確認し、自機関における詳細な行動や体制については自機関の防災マニュアル等を確認します。

留意点

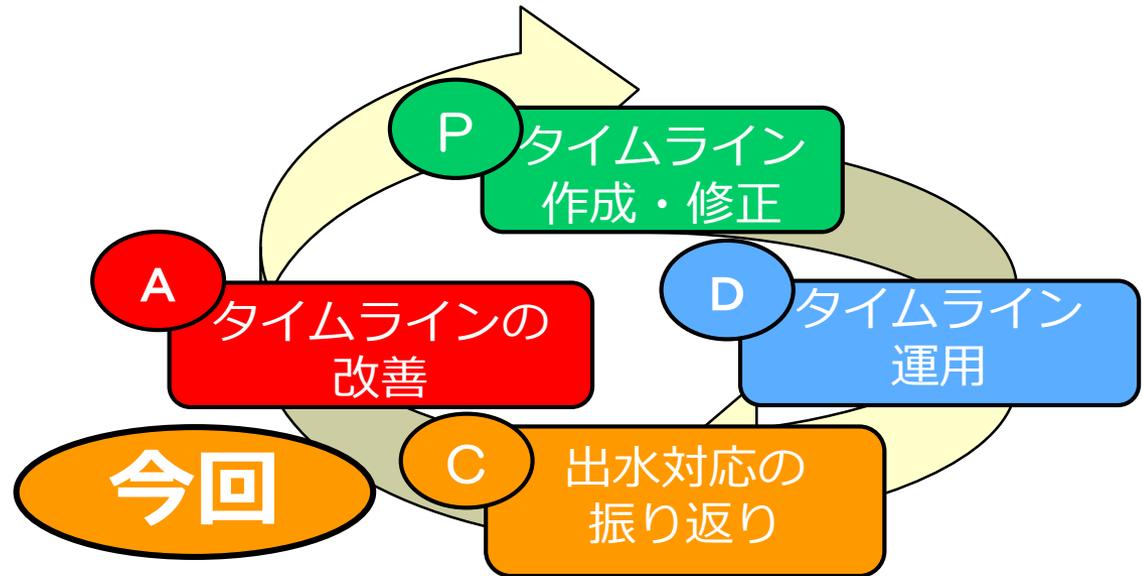
多機関連携タイムラインで整理されている防災行動項目や実施のタイミングは、各機関の防災マニュアル等に記載されている内容を継続的に整合を図る必要があります。

(4) 振り返り (意見交換)

振り返りの目的

- 今年度の出水期は大きな被害は発生しなかったことから、アンケートにおいて確認した出水対応に対する課題を振り返りのテーマとして共有し、課題や改善策の意見出しを行う。
- 今回の意見交換の結果を踏まえ、タイムラインや運用方法に反映する。

タイムラインは、
PDCAにより
スパイラルアップして
いくことが重要



<今回の振り返りで議論するテーマ>

- テーマ1：早めの体制確立について
- テーマ2：他機関や機関内における情報共有について
- テーマ3：出水対応時における感染対策について

振返りの方法

- 3つのテーマについて、意見交換を実施。
- テーマに対する現状や改善・工夫のアイデアを、リアルタイムアンケートツールを用いて集約。



テーマ1：早めの体制確立について

<振り返りアンケートから見えた課題・問題点等>

- 業務が重複し若干遅めの指示となった
- 未明に警報が発令され、職員の参集に時間がかかった
- 急激な降雨、河川水位上昇で準備時間が無かった
- 情報提供の体制が不十分だった

<リアルタイムアンケートを用いて意見を伺います。>

出水対応における体制の不足や遅れの経験について

Q1：これまでの出水対応において、体制の不足や遅れが課題となったことはありましたか？(令和2年出水に限らず)

- あった。
- なかった。
- わからない。

710 035 690



ashidagawa.respon.jp

Q2：選択した理由（詳細）を教えてください。（自由記述）

例：H30.7豪雨では想定を超えた降雨で体制確立が間に合わなかった。等

テーマ1：早めの体制確立について

早期の体制確立に向けた工夫について

Q1：早期の体制確立や十分な体制を確保するために工夫していることはありますか？

- ある。
- ない。
- わからない。

512 994 420



ashidagawa.respon.jp

Q2：工夫した具体的内容を教えてください。（自由記述）

テーマ2：他機関や機関内における情報共有について

<アンケートにおける意見>

- ✓ 機関内での情報共有に課題
- ✓ タイムライン発動のメールを受信し、各所に伝達しているが、漏れが生じる
- ✓ タイムラインの発動及びレベル移行等について、メールでは気づきにくい

<リアルタイムアンケートを用いて意見を伺います。>

出水対応における情報共有の不足や遅れの経験について

Q1：これまでの出水対応において、情報共有の不足や共有・伝達の遅れなど課題になったことはありましたか？（令和2年出水に限らず）

- あった。
- なかった。
- わからない。

Q2：選択した理由（詳細）を教えてください。（自由記述）

例：H30.7豪雨では他機関との情報共有が不足していた。等

816 942 756



ashidagawa.respon.jp

テーマ2：他機関や機関内における情報共有について

確実な情報共有に向けた工夫について

Q1：情報共有を確実にするために工夫していることはありますか？

- ある。
- ない。
- わからない。

752 817 642



ashidagawa.respon.jp

Q2：他の機関への情報共有・伝達について、工夫している内容を教えてください。（自由記述）

Q3：機関内の情報共有・伝達について、工夫している内容を教えてください。（自由記述）

テーマ3：出水対応時における感染対策について

<アンケートにおける意見>

- ✓ **新型コロナウイルス感染症感染防止**のため**避難を促すべきかの判断を苦慮**することが予想され，医療機関を含め各機関の連携が必要と認められる

<リアルタイムアンケートを用いて意見を伺います。>

出水対応時における感染対策について

Q1：新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、出水対応に変化はありましたか？

- あった。
- なかった。
- わからない。



Q2：変化した内容・選択した理由（詳細）を教えてください。
（自由記述）

例：避難所の密を防ぐ必要があった。

災害対応時に密を防ぐために執務室で対応するようになった。等

テーマ3：出水対応時における感染対策について

感染症対策を踏まえた出水対応に向けた工夫について

Q1：感染症対策を踏まえた出水対応について、工夫していることはありますか？

- ある。
- ない。
- わからない。

789 016 542



ashidagawa.respon.jp

Q2：工夫している内容を教えてください。（自由記述）

例：避難所が密にならないよう早めの縁故避難を呼びかけている。

例：WEB会議で情報共有をするようになった。

(5) 今後の予定

- 今回のワーキングの結果を整理し、事務局でタイムラインや運用方法の改善案を作成し、年度内に意見照会を実施予定
- 令和3年度出水期前には、タイムラインの読み合せ検討会を実施予定